

記事集め壁新聞で発表

実践校1年目。新聞を日常的に読み比べながら社会的課題を捉える視点や能力を磨き、課題解決の能力を

切り抜き記事を壁新聞にまとめ、発表する生徒＝奄美市の大島高校



大島高校（奄美市）

高める狙いだ。
教師が選んだ記事を読み、要約文や感想を書く「朝の一読」に取り組む。また校内に全国・地元の計6紙を置き、国語や社会科で、記事を分析するなど活用する。

社会の授業では、2年生が「経済」「環境」といった六つのテーマごとに班で気になる記事を切り抜いて集め、壁新聞にまとめて発表した。長瀬康太さんは「ローカルとグローバルの両視点で社会に目を向けられるようになった」と話す。若山恵理教諭(50)は「ネットで調べ物をする生徒が多い中、新聞を情報ツールとして位置付けることができた」と手応えを語る。
(木下瑛司)

かごしま NIE実践校

調べ、まとめる力養う

高学年を中心に日々の学校生活で新聞記事に多く触れ、課題解決に向けた調べる力、自身の考えをまとめ

る力を養う。新聞活用学習支援サイト「すくーる373る」の利用にも積極的だ。

6年生は毎日の朝の会で、児童1人が注目記事を紹介して感想を発表。他の児童が意見する機会も設け、内容の理解を深めている。

5年生は方言の必要性を考える授業で、373るの記事検索機能を使った。方言関連の記事を読みながら自身の見解をまとめ、谷山頼希君は「いろいろな人の考えを知ることができて面白い」と振り返った。

NIE担当の松久保鉄也校長(57)は「根拠も示しながら、自身の考えを論理的に説明する力が付いてきた」と話した。
(山田真真)

「すくーる373る」を使って記事を読み、考えをまとめる児童＝さつま町の鶴田小学校



鶴田小学校（さつま町）